

キャリア



中学校

高校

総合

仕事ハッケン伝

🕒 43分

博多華丸×IT企業

(2011年放送/以下同)

ピース又吉×コンビニ業界

狩野英孝×テーマパーク

misono×ディスプレイ業界

この番組の良さ



職業体験ドキュメタリーとして

「今と違う仕事に就いていたらどんな人生だろう」というコンセプトのもと、有名タレントたちがやってみてきた仕事をおよそ1週間体験します。タレントたちがお客さんとしてではなく、正社員として扱われ、本気でそれぞれの仕事に就いて働いています。最初は戸惑いながらも次第にそれぞれの仕事にのめり込んでいく姿を通して、視聴者自身もその仕事を体験しているような感覚で視聴することができます。

職業観を養うために

やってみないと自ら希望して選んだ仕事ですが、いざ体験してみると当初思い描いていた仕事とは全然

違うことをどのタレントも実感します。IT業界、コンビニ業界、テーマパーク、ディスプレイ業界などこれまで自分たちがイメージしていたことはその仕事の表面的な部分であり、実際にはもっと奥が深いこと、それぞれの仕事の醍醐味や求められる能力などについて気づかせてくれます。

勤労観を養うために

希望した仕事ということもあり、最初はタレントたちの表情にも余裕が感じられます。課題を与えられ、その課題に取り組んでいくと次第に自分の考えの浅さに気づき苦悩する姿が映し出されます。課題を解決しようと取り組むうちにどのタレントも表情が真剣になり、目つきが変わっていきます。タレントたちが悩み、苦しみながら課題に取り組み、最後は周囲も驚くような成果を出していく姿を通して、「本気で仕事に取り組むということはどういうことなのか」ということを考えるきっかけになります。

深く考えることの大切さに気づかせる

どのタレントも仕事をしていくうちに次第に追い込まれ、思い悩んでいきます。これら4つの番組は、企業の中で企画を立てる業務を体験する内容ですが、単なる思い付きや安易な発想では通用しないことをタレントたちは実感します。

タレントたちが試行錯誤しながら何度も考え、考え抜いた後にやっと課題を解決するアイデアを生みだしていることを示しながら、深く考えることでより良いアイデアが生まれ、そうすることを会社は求めていることに気づききっかけとなります。

